

アクセス

大学院生募集（2026年度）

認定遺伝カウンセラー養成課程



岩手医科大学大学院

医学研究科 修士課程

応用医科学群

遺伝カウンセリング学専攻

Genetic Counseling Program

Applied Medical Science

Graduate School of Medical Science

Iwate Medical University



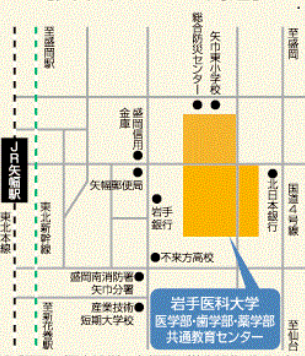
ver.1 (2025.6.4)

[内丸キャンパス周辺]



●盛岡駅▶(バス10分)▶[中央通一丁目] [岩手医大前] バス停・下車
▶(徒歩2分)▶岩手医科大学
●盛岡駅から車で10分、徒歩25分
[内丸キャンパス]
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

[矢巾キャンパス周辺]



●盛岡駅▶(電車15分)▶矢巾駅▶(徒歩17分/1.4km)
▶矢巾キャンパス
●盛岡駅から車で30分
[矢巾キャンパス]
〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通り1-1

入学試験や受験資格についてのご質問は
岩手医科大学 医学部教務課
〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大
通1丁目1番地1号 TEL 019-651-5111
(内線5512) HP: http://www.iwate-med.ac.jp/research/daigakuin/in_exam/in-med/

◇ 入試日程

第1回

- 願書出願期間 2025年10月 予定
- 入学試験日 11月 予定
- 合格発表 12月 予定

第2回

- 願書出願期間 2026年1月 - 2月上旬 予定
- 入学試験日 2月末 予定
- 合格発表 3月上旬 予定

◇ 入試科目

< 一般選抜 >

- 英語試験 ・ 面接試験

< 社会人特別選抜 >

- 英語試験 ・ 面接試験 ・ 小論文

◇ 募集人数 若干名

内容についてのお問い合わせ先

◆ 出願前に必ずご連絡ください
岩手医科大学医学部臨床遺伝学科

HP: <https://iwate-med-clinical-genetics.jp>

教務担当者 山本 佳世乃

E-mail: iwateiden@iwate-med.ac.jp

認定遺伝カウンセラーとは

- 日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会が共同認定する資格です。
- 平成17年4月1日より認定遺伝カウンセラー制度が正式にスタートしました。
- わが国には426名(2025年4月現在)の認定遺伝カウンセラーがおり、現在、より多くの人材が求められています。
- 認定遺伝カウンセラーは、遺伝学、遺伝医学、専門的なカウンセリングの技能や倫理的社会的問題への知識を身につけていることが求められます。
- 臨床遺伝専門医や主治医、助産師、保健師、看護師、薬剤師、臨床心理士など多くの職種と連携しながら、遺伝医療を支えています。

認定遺伝カウンセラーになるためには

認定遺伝カウンセラー養成校（大学院）を修了し、認定遺伝カウンセラー認定試験に合格することで資格を取得することができます。
(認定遺伝カウンセラー制度委員会HP

<https://plaza.umin.ac.jp/~GC/index.html>)

認定遺伝カウンセラーの活躍先

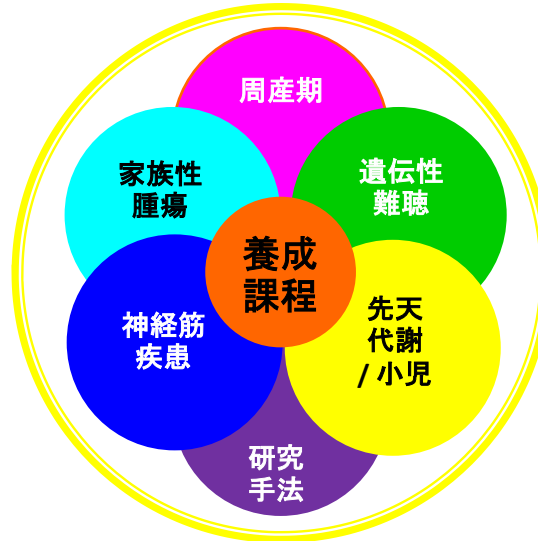
認定遺伝カウンセラーの有資格者は様々なところで活躍してします。

- 国立病院 遺伝部門
- 大学病院 遺伝部門
- 国立・私立大学 教員
- 検査会社 学術部門 など

本養成課程の特徴

医療現場に直結

★ 人とのふれあいを重視した
“臨床直結型”養成プログラム



幅広い領域の豊富な臨床経験を積むことができる養成プログラムを提供
現場で求められる研究手法も学ぶことができる

現場で活躍できる
認定遺伝
カウンセラーになろう

取得可能な学位・資格

- 修士（医学）
- 認定遺伝カウンセラー認定試験受験資格

カリキュラム概要（2024年度 例）

1 年 次 前 期	- 医学概論 - 生命倫理学 - 実験計画法と医学統計法 - 人体構造学 - 人体機能学 - 多職種連携チーム医療 - メディカルゲノミクスI - 遺伝カウンセリングI - 臨床遺伝学 - 医用遺伝子工学I-1 - 医用分子生物学I-1	
1 年 次 後 期	- 実験動物学 - 人類遺伝学I - 医用遺伝子工学I-2 - 医用分子生物学I-2 - 遺伝医療と社会 - 医療倫理演習 - 医療心理学 - 遺伝カウンセリング演習 I	・ ・ 遺 伝 カ ウ ン セ リ ン グ 実 習 修 士 論 文
2 年 次 前 期	- 人類遺伝学II - 医用遺伝子工学II-2 - 臨床遺伝学演習 - 遺伝カウンセリング演習 II	
2 年 次 後 期		

全学年を通じて、
遺伝医学関連学会・講習会・セミナー等への参加が必須